



記念コンサートでベートーベン「交響曲第九番」を歌う市民（1日午後、堺市）

政令市移行

堺に「歓喜の歌」

記念コンサート、市民熱唱

政令指定都市になった堺市は一日午後、記念式典と記念コンサートを市民会館で開き、それぞれ

約千二百人が参加した。

式典には太田房江・大阪府知事、地元選出の北側一雄・国土交通相らが出席。あいさつに立った

木原敬介市長は、一九六一年の「百万都市構想」の発表以来、政令市移行が歴代市長の宿願だった

点に触れ「歴史的瞬間を迎えることができ、万感胸に迫る」と話した。

式典後、招待客を入れ替えたコンサートでは、堺市を本拠にする大阪シ

ンフォニカー交響楽団が

大山平一郎さんの指揮でベートーベンの交響曲第九番を演奏、公募で集まった市民百九十人が「歓喜の歌」を合唱した。

普物コンサルタントの女性（62）は「プロ並みの水準やった」とびっく

り。小説家で堺市文化振興財団理事長の難波利三さんは「添え物とばかり思っていたが、完全にこなしていた」と絶賛した。